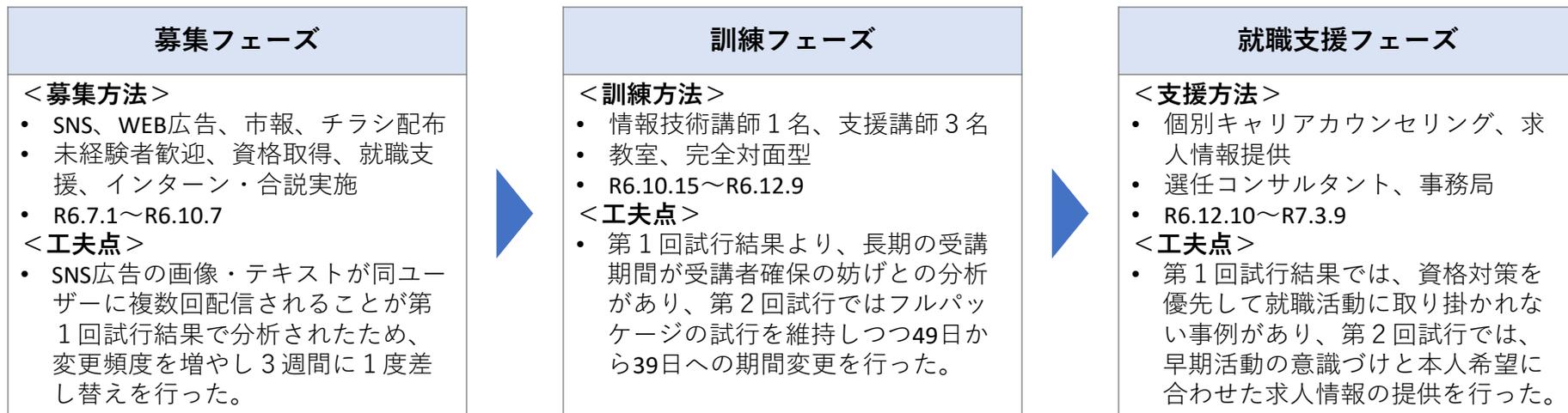


〈訓練パッケージの全体像〉

受講対象者の属性		長期離職者又は離転職を繰り返している者より、沖縄県において最も失業率の高い20歳～39歳
受講対象者が直面している課題		上記属性の方々の中には、職場定着に課題を抱えている者も含まれている。具体的には、新卒で就職をしたものの3年以内に離職する事例や、非正規で就労を行っている若年層が含まれている。
訓練概要		沖縄県内IT企業等に正社員等として採用されるITリテラシーとヒューマンスキルを併せ持った人材育成を目的とした職業訓練+就職支援+受け入れ企業支援の三位一体型の総合パッケージ
訓練の新規性	既存訓練の課題	既存の訓練では受け入れ企業側の職場環境やキャリアパスに対する取り組みが不足していた。
	本訓練での試み	受け入れ企業向けに企業セミナーを4回実施し定着に向けた企業側での具体的な取り組みを支援する。
カリキュラム		<ul style="list-style-type: none"> ①ヒューマンリテラシーの向上訓練 2.5時間 ②情報技術訓練（ネットワークインフラ+サーバ+DXリテラシー） 217.5時間 ③汎用型インターンシップ 21時間 ④就職支援訓練 37.5時間 ⑤伴走型就職支援

〈訓練パッケージの流れ〉



〈試行結果〉

試行時期	2024年10月～12月	試行エリア	沖縄県
受講者数等	受講定員：30名 受講者数：10名 修了者数：8名		
就職状況	正規就職者数：4名 非正規就職者数：3名		

結果に対する評価

80%の修了者と修了者中60%の正規就職者を目標値とした。
 想定した受講者30名を基準にすると修了者の達成率は41%、正規就職者の達成率は26%となる。
 受講者数10名を母数とすると修了者の目標は達成、内正規就職者の割合は50%となった。（就職目標の達成率83.3%）

効果が得られた施策とその要因

- 募集 SNS広告の中でXのリアクションが比較的に良く集客効果があったと思われる。「学習に抵抗感が無く、20代～30代で自己啓発・キャリア志向がある」という想定した受講対象者像とXユーザーに共通項があったことが要因と考えられる。
- 訓練 受講者確保とは乖離するが対面型で訓練時間を長くしたことで、受講者の技術理解・満足度の向上に効果があったことがアンケートから読み取れる。
- 就職支援 受講者から沖縄県外での就職を希望する者がいた。希望地域の求人情報を展開することによって、正規就職につながった。

〈今後の訓練手法活用に向けて〉

今後の課題及び改善策

受講者の確保が大きな課題として挙げられる。訓練期間が土日を含めると約2ヶ月、午前・午後に通所で拘束されるという点が結果の原因と考えられる。また受講期間はスケジュール上、アルバイトを含めて就業することが難しく、2か月間無収入となる為、受講を見送ったという声が訓練説明会の参加者より挙がった。

- 改善策
 - ①訓練スケジュールの緩和
求職者が収入を得ながら受講することを念頭に、平日の半日講座や土日講座として開催することを検討する。インフラ学習の重点として専門機器に触れて実学ということをアピールとしているが、筆記演習のカリキュラムでのオンライン受講を認める
 - ②既存の訓練に一部を導入
今回の試行で実施した企業支援の取り組みを既存の訓練に導入すると、企業側の採用環境整備に役立ち、また企業側の訓練内容に対する理解が進むことで、よりマッチしたインターンシッププログラム・求人紹介に導ける。